



発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

柔らかい和のひととき

奏でる至福の琴の音

「お琴教室はじめました。」

【亜矢のハーブ一口メモ】でお馴染みの岡本亜矢さんは、幼少の頃よりお琴を修業され以前より勧められていたお琴教室をこの度ひらくことになりました。

はじめた頃はお稽古の後にいただくお菓子が楽しくて、お母さんにすすめられるままに通っていました。お祖母さんがよく三味線を弾いていたので、いつか一緒に弾けたらいいなーと思いつながら練習していたそうです。

学生時代はクラブ活動や演奏会で友達や先輩方とともに演奏して、なかなか楽しむ余裕がなかったそうですが、変わったのは就職してから。仕事で疲れていても帰りにお稽古に行くと、頭も気分もスッキリして疲れが取れ、改めてお琴を習っていて良かったと思つたそうです

「練習することに集中していると、ほかの事を考えないからかもしれない。」

お琴は何歳になっても楽しめる楽器です。同じ曲を練習していても、その年代によって感じ方や弾き方が変わっていきます。とても深くあきません。古典もとても好きですが、東京行進曲、荒城の月、

青い山脈といった曲も演奏されます。

きつかけは新年会で演奏させていただき、回を重ねると、聴くだけでなく皆さんにも歌って頂いて一緒に楽しんで欲しいと思います。はじめは緊張されたそうですが、皆さんに大きな声で歌っていただく、亜矢さん自身が楽しくなり、元気をいただいています。

最近では知人の老人ホームでも演奏されました。いつも会場に着くまでは琴唄の練習をしながら車を運転されています。助手席で黙って聴いているお琴（相棒）は、頑張りとお励ましてくれているようです。終わると、曲のリクエストを頂くこともあり、次回までには出来るようにと考えるのも楽しみです。

琴の演奏といえば三味線や尺八と共に致しますが、近頃はピアノやフルート、バイオリンと演奏したり色々な変化しています。もちろん古典は大切ですが自由な発想で楽しんでみるのもいいですね。

お正月になるとデパートや食事処など様々などころで琴の音を耳にします。皆さんもよくご存知の六段、春の海。いいなあと思いつながら始めるには大変、音なんて出ない。敷居が高いと思っていました。

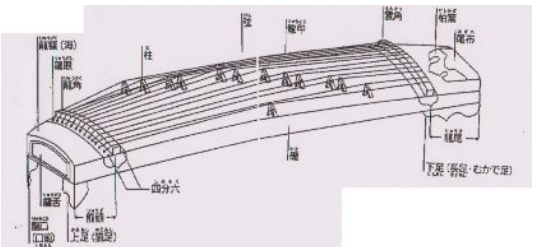
「そんなことはありません、どなたでも演奏できますし、簡単ですから、ちょっとやってみましょうよ。」

ありました。お琴は立奏台りつそうだいにのせてあり、私はイスに座りました。爪をはめて恐る恐る糸を弾くと意外としつかり音が出てびっくり。「さくら」のさわりだけですが教えて頂き自分でも簡単に弾けるんだと驚きました。

桐のお箏から伝わる柔らかな音。「秋篠寺」を弾き唄いしていただき、流れるような指先に共鳴する音色、至福のひとときを貰いました。

お琴は初心者の方や年齢に関係なくよい音色が出ますし、イスに座ってお稽古でき、お琴がなくても教室で練習できます。時間も選べ、時にはハーブティーを飲んで気楽にレッスンしていただけます。

武家のたしなみとされてきたお琴をほんのひととき、心の栄養に弾いてみませんか。詳しくはパンフレットがございます。



◇お琴の教室◇

山田流箏曲石倉松京門人
箏曲教授 岡本博笙京
ワンレッスン30分 千円 入会金無料
南千住8-12-5 べるぼうと東館1階
西川寝具・ハーブの店
ラ・ボンヌオカモトTEL3801-4725